

# 「被服」シラバス

校長

教頭

担当教諭

科目	被服	単位	2	学年	3	総合選択
使用教科書	第一学習社 改訂版 高等学校 家庭総合			副教材等	基本理解のチェック&練習家庭総合学習ノート	

学習の到達目標	被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得させ、被服を創造的に製作する能力と態度を育てる。
---------	--

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断	c. 技能・表現	d. 知識・理解
人の一生と、衣生活について関心を持ち、その充実向上をめざして意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と衣生活について見直し、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と衣生活に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生衣生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。

期	月	項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法			
				a	b	c	d
1	4	3章 装う					
		第1節 私たちの暮らしと被服 1. 生活のなかの被服の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>被服の機能には、保健衛生的機能と、社会的・文化的機能があることを理解する。</li> <li>人間は体温を一定に保つため、被服の素材やデザイン、着装の工夫によって快適な被服気候をつくり出してきたことを理解する。</li> <li>被服のもつ保健衛生的な機能や社会的・文化的な機能を生かし、望ましい着装について考える。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークシート</li> <li>プリント学習</li> <li>ノート提出</li> </ul>
	5	2. 個性を生かした装い製作1 (基礎縫い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アパレル産業の発達にもない、現代の私たちの被服のほとんどが既製服化している現状を知る。</li> <li>近年の消費行動の多様化・個性化が多量の死蔵品を生む要因となっていることを理解し、消費のあり方を考える。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>製作物提出</li> </ul>
7	6	第2節 被服材料 1. 被服材料の種類 2. 被服材料の性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>被服材料の大部分をしめる布について、その原料である繊維の種類と特徴を理解する。</li> <li>自分の身のまわりの布がどのような繊維でつくられているかに関心をもつようにする。</li> <li>繊維の性能を改善するために施されている加工について、その目的や用途を知る。</li> </ul>	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークシート</li> <li>プリント学習</li> <li>ノート提出</li> <li>定期考査</li> </ul>
		製作2 (半袖シャツ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>応用作品として半袖シャツを製作する。</li> <li>採寸、裁断ができる。</li> <li>被服縫製ができる。</li> </ul>			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作物提出</li> </ul>
2	8	第3節 被服の選択と管理 1. ライフステージと被服	<ul style="list-style-type: none"> <li>被服は、気候・風土によって異なる一方、人生という長い時間軸で見ると、ライフステージによっても違ってくことを理解する。</li> <li>①乳幼児期、②学童期・思春期・青年期、③高齢期の3つに分けて衣生活を学んでいく。</li> </ul>				事例調査「被服の品質表示、取り扱い絵表示」  <ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークシート</li> <li>プリント学習</li> <li>ノート提出</li> <li>定期考査</li> </ul>
		11	2. 被服の選び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>被服を購入する際には、品質表示をもとに取り扱い絵表示やサイズ、着心地、動きやすさ、縫製の善し悪しなどを調べることの重要性を理解する。</li> <li>取り扱い絵表示の種類と意味、サイズ表示の見方について理解する。</li> <li>デメリット表示などその他の表示の例や意味を知る。</li> </ul>	○	○	
	12				○	○	○
3	1	3. 被服の手入れ 製作3 (編み物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯には湿式洗濯と乾式洗濯があり、それぞれの特性を理解したうえで、品質に応じて洗濯することを学習する。</li> <li>家庭の湿式洗濯に用いられる洗剤について、その働きや成分を知り、環境に配慮した洗濯の工夫について考える。</li> <li>衣服の手入れについて、主体的に取り組む態度を養う。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作物提出</li> </ul>
	2						

評価方法	定期考査、提出物(作品)、授業態度を総合的に判断し、評価する。
------	---------------------------------